

【基礎科目】と【専門科目】から分野を超えて自由に選択できます。

基礎科目

経営・会計・法律など、一般教養科目を学ぶことができます。それぞれの目的に合わせて自由に科目を選択できます。

専門科目

Market  
ビジネスマネジメント 科目群

医療・福祉・環境分野におけるビジネス動向と企業・組織の原理と構造を把握し、社会に貢献する企業組織の知識と技術を学びます。

Community  
コミュニティマネジメント 科目群

国内外の地域における医療・福祉・環境・経済の問題や仕組みについて理解を深め、コミュニティベースのマネジメントの知識と技術を学びます。

House hold  
ライフマネジメント 科目群

生活上の支援を必要とする人々のニーズを的確に把握し、これに応えるための福祉のマネジメントの知識と技術を学びます。

		テキスト科目	オンデマンド科目 (e-learning)	スクーリング科目	資格科目 (演習・実習科目)	
		<p>テキスト教材を使った在宅学習授業。インターネットにつながったパソコンを活用して添削課題、科目修了試験を自宅で行います。</p>	<p>インターネットにつながったパソコンを使って、画像や動画、音声などで構成された授業を受講し、確認テストや質疑応答を通じて学習します。小テストや科目修了試験も自宅で行います。</p> <p>スクーリング単位として認定されます。</p>	<p>全国各地で開催される対面式授業を受講します。科目修了試験 (レポート形式) はインターネット上から後日提出する必要があります。</p> <p>※地域によって開催される科目は異なります。</p>	<p>社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するための科目です。実習科目は現場への配属実習が必要となります。また「テキスト学習」と「スクーリング学習」の2つの学習形態を通じて学びます。テキスト学習は課題レポート等を作成する記述式の学習方法です。科目によって講師の添削指導があります。</p>	
基礎科目		<p>民法 (4) 日本史 (4) 生物学 (2) 死生学 (2)</p> <p>社精 社会福祉調査論 (2) 新1・2・全 学びの技法I (文書の読解と作成) (2) 学びの技法II (文書作成演習) (1) ※2</p>	<p>福祉経営序論 (1) スタートアップセッション (1) 福祉社会入門 (2) 実践英会話 (2) 英語プレゼンテーション (2) インターネット演習I (2) インターネット演習II (2) 哲学 (2) 法と人権 (2) 居住福祉論 (2) 子どもソーシャルワーク入門 (2)</p>	<p>医学概論 (2) 心理学 (2) 社会学 (2) 社会福祉原論 (4) 教育心理学概論 (2) 発達心理学 (2)</p>	<p>フォローアップセッションI (効果的な学び) (1) フォローアップセッションII (実践的な学び) (1) 必選 ソーシャルワークと専門職 (2)</p>	<p>社会福祉士 演習・実習科目</p> <p>ソーシャルワーク演習I (2)      ソーシャルワーク演習II (4) ソーシャルワーク演習III (4)      ソーシャルワーク実習指導I (3) ソーシャルワーク実習指導II (3)      ソーシャルワーク実習I (1) ソーシャルワーク実習II (4)</p> <p>※上記、実習科目の履修をご希望の場合は、社会福祉士実習履修者・入学前選抜または社会福祉士実習履修者・学内選抜に合格する必要があります。 ※実務経験による「ソーシャルワーク実習指導I-II」「ソーシャルワーク実習I-II」の免除が可能です。</p>
	科目群	<p>経済学 (4) 経営学 (4) 簿記 (2) マーケティング (4) 財務会計 (4) 管理会計 (2) 労働法 (4) 経営組織と戦略 (4) ベンチャー経営 (4) 人的資源管理 (4) 医療経済学 (2)</p> <p>医療福祉経営論 (4) 非営利マーケティング論 (4) シルバーファイナンス (2) 必選A ファイナンシャルプランニング総論 (1) A 金融資産運用設計 (2) A 不動産運用設計 (2) A ライフプランニングと資金計画 (2) A リスク管理と保険 (2) A タックスプランニング (2) A 相続・事業承継設計 (2)</p>	<p>医療福祉ビジネス (2) 福祉情報技術 (2) A ファイナンシャルプラン作成 (1) 必選社 福祉サービスの組織と経営 (2)</p>	<p>日本企業の経営・会計 (2) 社会福祉法人のマネジメントと会計 (2) 福祉現場の人材養成 (2) ユニバーサルデザインと暮らし (2) 福祉とテクノロジー活用 (2) 福祉マーケットと経営戦略 (2) 医療福祉サービス組織の人材マネジメント (2)</p>	<p>精神保健福祉士 演習・実習科目</p> <p>ソーシャルワーク演習I (精神) (2)      ソーシャルワーク演習II (精神) (6) ソーシャルワーク実習指導I (精神) (2)      ソーシャルワーク実習指導II (精神) (4) ソーシャルワーク実習 (精神) (5)</p> <p>※上記、実習科目の履修をご希望の場合は、精神保健福祉士実習履修者・学内選抜に合格する必要があります。 ※実務経験による「ソーシャルワーク実習指導I-II (精神)」「ソーシャルワーク実習 (精神)」の免除が可能です。</p>	
	専門科目	<p>NPO 論 (4) 地域環境計画 (4) 国際開発 (4) 災害復興のための制度と法 (2) 環境論 (2) 精神医学からみたアディクション (2) 福祉文化論 (2) 健康格差社会 (2) 医療政策論 (4) 必選 医療・福祉サービス論 (2)</p>	<p>国際福祉開発 (2) 福祉社会開発の支援ワーク (1) ふくしと減災コミュニティ (2) 社精 地域福祉と包括的支援体制 (4) 日本の中の多文化 (2) スポーツマネジメント (2) 社精 社会保障 (4) 必選社精 ソーシャルワークの理論と方法I (4) 社精 ソーシャルワークの理論と方法II (4) 社精 ソーシャルワークの理論と方法 (精神) (4) 社精 権利擁護と成年後見 (2) 社精 刑事司法と福祉 (2) 社精 保健医療と福祉 (2) 社精 精神保健福祉制度論 (2) 社精 精神保健福祉の原理 (4) 社 公的扶助 (2) 地域活動実践論 (1)</p>	<p>社会福祉法人会計 (4) ※1</p>	<p>社会福祉政策国際比較 (2) 社会福祉と権利擁護 (2) 医療福祉システムの理論と実践 (2) (隔年開講・2024年度開講) 医療福祉制度と暮らし (2) (隔年開講・2024年度休講) 社会保障の制度と課題 (2) 地域福祉と災害ソーシャルワーク (2) 単身世帯と社会政策 (2) 地域共生社会と地域づくり (2) 地域共生社会と相談支援の仕組み (2) 障害者政策と自立支援 (2) 多様なニーズに応える特別支援教育 (2) 多職種連携実践 (IPW)と多職種連携教育 (IPE)の展開 (2) 被災者支援と福祉防災に向けた実践演習 (2) エンドオブライフとソーシャルワーク (2) 地域活動実践演習 (1)</p>	<p>※資格科目は卒業単位には含まれません。</p>
	ライフマネジメント科目群	<p>心 高齢者の心理 (2) 心 産業組織心理学 (2) 精 精神医学と精神医療 (4) 精 精神保健学 (4)</p>	<p>ヒューマンケアのための多職種連携 (2) 認知症の医療とケア (2) リハビリテーション医学 (2) 発達精神病理学 (2) 精神障害者支援論 (2) アディクションとソーシャルワーク (2) アディクション領域における経験者有する援助者の支援論 (2) 必選社精 ソーシャルワークの基盤と専門職I (2) 社精 ソーシャルワークの基盤と専門職II (2) 社精 障害者福祉 (2) 社精 高齢者福祉 (2) 社精 児童・家庭福祉 (2) 精 精神障害リハビリテーション論 (2)</p>	<p>心理学研究法 (2) 心理検査法 (2) 心 知覚心理学 (2)</p>	<p>精神障害者と福祉実践I (2) 精神障害者と福祉実践II (2) 精神・発達障害者の理解と共働 (2) ケアマネジメント入門 (2) 障害者スポーツ研究 (2) 認知症ケアと多職種連携 (2) 認知症の人と地域包括ケア (2) スクールソーシャルワークと学校現場 (2) 司法と福祉の連携とソーシャルワーク (2) アディクションと生きる社会を考える (2) 基礎から学ぶ発達障害の理解と支援 (2)</p>	<p>論文・レポート作成基礎I (2) 論文・レポート作成基礎II (2) 研究論文指導 (4)</p>
フィールドスタディ科目				<p>論文・レポート作成基礎I (2) 論文・レポート作成基礎II (2) 研究論文指導 (4)</p>	<p>スウェーデン研修 (4)</p>	

必 必修科目 必選 選択必修科目 新1・2・全 新1・2年次入学生全員履修科目  
社 社会福祉士資格指定科目 精 精神保健福祉士資格指定科目 心 認定心理士指定科目 A AFP認定研修指定科目  
● ( )内は各科目の単位数を表しています。 ● 諸事情により開講科目等が変更になる場合があります。

※1. テキスト教材とオンデマンド授業を併用する学習で、インターネットにつながったパソコンを活用して添削課題、科目修了試験を自宅で行います。単位の一部がスクーリング単位として認定されます。  
※2. 「学びの技法II (文書作成演習)」は、「学びの技法I (文書の読解と作成)」の単位を修得した2年次以上が履修できます。

地域学習会

学生のグループが、地域の特色や事情を生かして共通の学習テーマのもと、主体的に開催する学習活動です。通信教育部では、地域学習会開催の案内、企画や講師に関する相談、運営費補助などの支援を行っています。所定の要件を満たす地域学習会プログラムは「スクーリング (地域フィールドワーク)」科目として単位認定を行う場合があります。



「研究論文指導」「論文・レポート作成基礎I・II」

自主的な研究を行いたい学生、論文の作成を希望している学生を対象として「研究論文指導」を開講しています。履修には指定された条件 (履修前年度に行われる選考試験の合格) を満たす必要があります。また、研究論文を作成するための導入科目として、研究の方法、論文の考え方や書き方などを講義する、「論文・レポート作成基礎I・II」(いずれもスクーリング科目)「社会福祉調査論」(テキスト科目)を開講しています。

「スウェーデン研修」

事前学習と現地での見学ならびに見学を深めるセミナーによってスウェーデン福祉国家を考察します。同時に、スウェーデンの生活安全保障制度を基軸として、日本の生活安全保障制度の特質とその限界性を批判的に検証します。授業料の他、研修費用がかかります。また、履修には指定された条件を満たす必要があります。詳細はホームページ <https://www.nfu.ne.jp> を参照してください。

「学びの技法I (文書の読解と作成)」

大学生が、論理的な文書を読解する場合、作成する場合に必要なことがらを理解するための科目です。卒業必修科目ではありませんが、新1・2年次入学生は全員履修する必要があります。